このコンビが街を救う？
妖怪×ポリスコメディ28P!
怪奇事件対策課
世にも奇妙な事件の数々…。
取り締まるのは一人のダメ男!?
特別読切
怪事の堕財さん
塚崎マロ
第12回角川漫画新人大賞【奨励賞】受賞者、YA初登場!

警察署
また
随分と派手にやったらしいじゃないか
神咲巡査
お説教タイム!
な何のことでしょう課長…っ
無理に止めようとして検挙した車の一部を破壊…
待ちなさアーッ!!
バーロー!!
暴走族とカーチェイスの末ミニパトを破壊
ブチィッ
ギャーッ
逃がしませーん!!
えっ
ギク
えっ
ギク
ギク
待ちなさーい!!
ボグゥ
追跡に夢中になり建造物や盗難品の破損など全てここ一週間の話だ
力ばかりあって
ガーン
ホント使えないなぁ君は…

待ってください
この馬鹿力は
生まれつきですし

私には体の弱い兄と
幼い妹がいるんです！
どうかお情けを…！

うおぉぉぉぉぉん

ブル
ブル

誰も
クビにするとは
言っとらん

ただ
君には……

まぁ 行けば
わかるさ
──…

…と
言われて
来てはみたものの

ごくり…

ポンカン

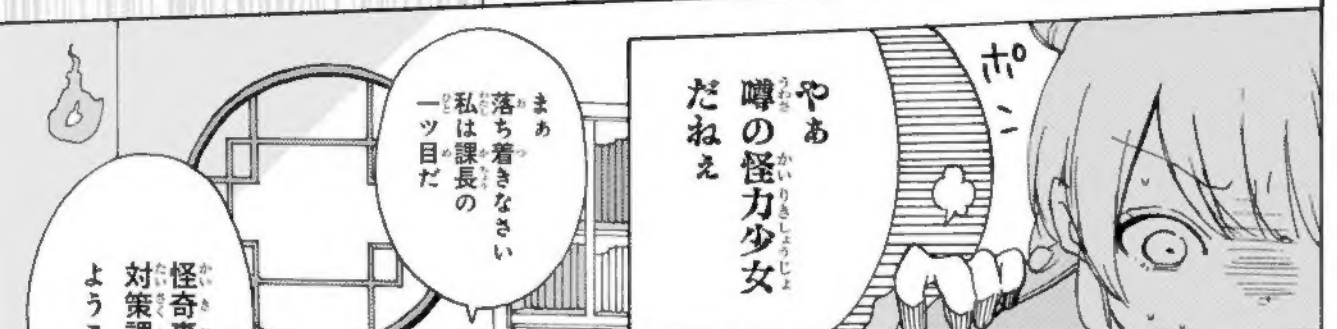
「怪事」へ
移動してもらう

ざわ

?

かい…じ？

この現状
斉藤さん書類ー
課長ー
全く理解できないんですけど…？
え…これ妖怪？
昔物語で見たような…？
でも ここ警察署内の地下だよね…？
どういうことなの…
ん？
怪奇事件対策課
怪奇事件対策課…？
あっ「怪事」…！
あそこの人気をつけてくださーい
堕財さんが落ちましたー
へ……？

ドサァッ
えええええええええええ!?
ポン
やぁ 噂の怪力少女だねぇ
まぁ 落ち着きなさい 私は課長の一ツ目だ
怪奇事件対策課へようこそ
ぬぉ
神咲いろはくん…
もう色々頭がついていかない…!
怪奇事件って……

ここは妖怪によって
引き起こされる
怪奇な事件を
我々妖怪の手で
解決する為に
組まれた警察組織
通称
「怪事」だ
妖怪の手で
妖怪を…
こんな組織が
あったなんて…
君には早速
バディを組んで事件を
担当してもらおう
バディ…って
相方！
い…
一体誰と…
君がちょうど
抱えている
そいつだ
さっき
キャッチした人…！
軽くて忘れてた！
だるん
どうせ
上で寝てて
落ちたんだろう
え…これ
日常茶飯事
なんですか…？
いやだなぁ
もぞ…
…っ
…ガネ
メガネ…
メガネ？
あぁ…
これですか？
よろ

チャッ
彼は
堕財國彦
人間と妖怪の
ハーフだ
ふぅ…
ハーフとかも
いるんだ…
でも 人間要素
あるなら
少し頼りに
なるかも…
ああ……
君が神咲くんか
噂は聞いているよ
ポフ
あ あの私
神咲いろはです
よろしくお願い
します！
ペこっ
よろしく頼む
スヤァ
0.5秒
全然よろしくする
要素が見当たらない!!

ガラララ…

では
今回調べてもらう
事件だが

連続
髪切り事件

連続髪切

被害者は全て人間
ここ数日で
四件の被害が
一気に出ている

え……っ

それって
普通に人間の仕業じゃ
ないんですか?

ここは妖怪を
捕まえる
部署では…

〈被害者〉
わッ
カシャ
カシャ
カシャ
ピ
……いや
これは間違いなく妖怪の仕業だ
だるん
ふ～
だるいのはわかりましたけどこの距離は動きましょうよ
まず切られた被害者の髪の断面が普通のハサミではあり得ないほど滑らかであるし
夜とはいえ事件があったのは人通りもある街中
なのに犯人の目撃情報は一件もない
カシャ
そして何より決め手となるのは
切られた後みんなおかっぱになっているということだ
バリッバリ
そこ そんな大事ですかね

犯人に目星はついている
ブッ
ブッ
だがそうだとすると犯行動機がわからないのだが…
まとりあえず事件があった場所はほぼ同じあたりらしいからな
現場に行って捜査頼んだぞ
ハハハ
えっちょ…っ一ツ目課長…！
犯人は妖怪警察も妖怪…もう訳がわからないけど
家族の為にもお金の為にも…
やるしかない…！
ガッ
よし
行きますよ堕財さん…
もう～！
考えてる途中で力尽きないでください！
鑑識きちゃったじゃないですか～！
ズンズン
降ろしたまえ神咲くん…
堕財さ――ん!?
チュー
チュー

YA ヤングエース
YOUNG ACE

じゃあ降ろしますからちゃんと自分で歩いてくださいよ…
よいしょ
ぐ"っ
いや…待ちたまえ

このまま現場へ直行だ
さぁ 行こう
いやだよ

堕財さん…プライドと引き換えに楽を手にするのやめてください…
じゃあ どうしろというのだ
まさか歩けとでも……？
堕財さん仕事って言葉知ってます!?
ああ…我慢よいろは家族とお金の為なんだから…！
あやかし商店街

今回の事件は
ガラ
だいたいこの商店街付近で起きているそうだ
気を引き締めていかなくてはな…
ガラ
ガラ
ガラ
…引き締めていただくのはいいんですが
そろそろご自分で歩きませんかね？
恥ずかしいです
ガラ
ガラ
ガラ
だいたいなんで台車移動なんですか！
妖怪警察ならなんかこうビューンとできないんですか！
こういうのとか
こういうの
神咲くん過度な便利さは人を駄目にするぞ
ちくしょう説得力がありすぎる！
もう……

そんなんでよく今まで警察やってこれましたね堕財さん
シデンキ
鮮
ガララ
ララ
ララ
今までの相方さんがよっぽど優秀だったんですね！
ピクッ
…いくら優秀であっても
忍耐力はまた別物だ
きっと君もすぐにいなくなるさ
ズいっ
え…？今なんて…
？
きゃあ…ッ

悲鳴…！
ガタン
！
大丈夫ですか…っ
ダッ
あ…っ
斬ッ
お おかっぱ…！
犯人の姿は見ませんでしたか…⁉
いいえ… 気づいたら急に髪が…
…ッ 一体どこに…
ビュッ
スパアッ
トッ
ヘアーサロン ザラ
……！

か
髪が…っ
ハラ…
…やっぱり
お前か
妖怪
髪切り
バサァ
誰かと思ったら
のろまな警察の
方々じゃ
ないですかァ
髪切り
人間の頭髪
(主に黒髪)を
密かに切ると
いわれる妖怪
お嬢さん
すまないが
ひとまず近くの
交番へ
は
はい…っ
ダッ
……さて
髪切り
姿を見せたからには
聞かせて
くれるのだろ
普段は美しい黒髪を
少量切るだけの
髪切りが
何故あえて
傷んだ髪の
人間ばかりを
切りまくって
いたのかという
理由を…
フン

そんなの決まってるだろ…
現代の人間はやれ染髪…やれ巻き髪…
カラーリング
パーマネント
ギエェェェェェエ
俺様はただ現代の技術が憎いんだよオオオ…!!
ただの八つ当たりかよ…!!
美しい黒髪カムバーック
とにかく妖怪髪切り現行犯で逮捕します…!
ビュッ
そんな力があっても
動きをとらえきれなきゃ何の意味もない
ねぇ?
無能な警察さん
酒
営
中
ピョイッ
ガチッ

ホント使えないなぁ君は……
また壊したって…
なんか何回目だよ…
さーて
のろまな警官殿はおいといて
俺様はゆっくり髪切り記録でも伸ばそうかねぇ
待…ッ
タッ
…ッ
ズシャッ
ギリ…
こんな力だけあっても…
…人間の世界で何をやっても駄目だった私は
妖怪の世界でもやっぱり駄目なの…？
どうしたら…ッ
…まだ方法はある

え…っ
ガッ
ただし
君が
俺の手足になれるならな
ゴッ
ギョロ

目が…——

俺は「百々目鬼」という妖怪と人間とのハーフでな

確かにやる気もないし力も体力もないが

カシャン

目が
よく見える

交通課で起こした騒動の数々…
そっ それは…っ
あの時の君の火はもっとずっと凄かった
君の力はこんなものじゃないだろ
！

罪人特有の黒い炎…
ギョロ
この距離からなら
よーく見える
神咲くん聞こえるか
ええッ!?
まさかの歩数…!
そこから南東に150歩!
そのあと北へ120歩!
キュッ
120、
そこから
上だ
う上!?
登るのだ
品質本位
メガネ
精肉
肉

無茶苦茶な…っ
おばちゃんごめんねっ！
うおおおおぉぉ
ゲッ
何で俺様の行く先がわかったんだ!?
とらえたぞ そのまま西へ全力！
え…っ
ザッ
でも堕財さん…っ
この先は行き止まりです…！

所詮人間
ここまでは
これまい…っ
ビュ
ッ
大丈夫だ…っ
自分の力を
信じろ…！
君の力は
こんなものじゃ
ないだろ――
……ッ
私は…っ
ぐ
私は……――

私を信じてくれた人を
跳べ……!!
信じる
――……!!
え

バキィッッ
わっ
ドッ
ボスンッ
よろっ
や…ハァ…やった…
やりましたよ堕財さん！
髪切り確保です…！
…？堕財さん？
堕財さん……っ!?

交通安全運動中
警察署
イテテ
堕財君はね
普段わざと見えにくくなるメガネをかけているんだよ
え……っ
怪フルエンザ注意!
ハイいいですよー
妖怪の遺伝子のせいで備わった彼の見えすぎる目は
日常生活を送るには辛過ぎるらしい
使いすぎると今日みたいに倒れてしまう
だから使う時間も限られてる
そんな使えるけど使えない力のせいか
彼の前からは今までたくさんの相方が去っていったよ
………

さて 君はどうかな……
堕財さん あの…
何かね
くるり
もっさぁ
うわ めっちゃブルーベリー食べてる!!
目の疲労回復だ
で 何の用だ? 別れの挨拶かね 君にも随分無理をさせて…
…あのっ
ありがとうございました!!
…ん?
…私 正直 自分のこの馬鹿力が大嫌いでした
でも 堕財さんが 私を信じてくれたから 私も自分の力を信じてみようって思えたんです

だから
これからも
ならせてください
あなたの
手足に！
……
君は
ドMか何か
なのかね…？
違います!!
心配
なんて顔
してんだ!!
…なんだ
かんだで
異色の名コンビ
誕生かもねぇ
そうですねぇ
フフフ
捜査
行きます
よー！
■ナイス相棒…？
おわり
ご意見・ご感想
お待ちしております